

お詫びと訂正

with NEO36 巻2号 12 ページ「感染症と母乳栄養の可否一覧表」におきまして、下記の内容に誤りがございました。読者の皆様に謹んでお詫び申し上げますと共に以下の赤字のように訂正いたします。

【誤】

- ・ 感染症：ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 /2 型 (HTLV-1/2)
- ・ 母乳栄養の可否：不可
- ・ 特記事項：母乳による児への感染リスクを十分に説明し、納得してもらった上で人工乳栄養を勧める

【正】

感染症	母乳栄養の可否	特記事項
ヒト免疫不全ウイルス (HIV)	不可	母乳による児への感染リスクを十分に説明し、納得してもらった上で人工乳栄養を勧める
ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 /2 型 (HTLV-1/2)	可 (要フォロー)	90 日未満の短期母乳栄養のメリットと感染リスクについて情報提供し、母親自身の意思決定を支援する。短期母乳栄養を選択した場合は、母乳栄養終了までフォローアップと支援を行う
梅毒 (特集 5)	可	妊娠中に一定期間治療を行った症例は、たとえ梅毒血清反応陽性であっても授乳可能。乳房に感染性病変 (硬性下疳) がある場合は授乳を控える
B 群溶血性連鎖球菌 (GBS) [特集 3]	可	双胎の一児が GBS 感染症を発症した場合の対応は「特集 3 : B 群溶血性連鎖球菌 (GBS)」(p.14~19) を参照
サイトメガロウイルス (CMV) [特集 4]	可	早産児への対応は「特集 4 : サイトメガロウイルス (CMV)」(p.20~26) を参照
風疹ウイルス	可	経路別感染対策を実施できれば直接授乳も可能
水痘-帯状疱疹ウイルス (VZV)	可	出産前の 5 日以内から出産後 2 日までに母親が水痘を発症した場合は、一時的に授乳を控える
麻疹ウイルス	可	経路別感染対策を実施できれば直接授乳も可能
インフルエンザウイルス (特集 7)	可	経路別感染対策を実施できれば直接授乳も可能
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) [特集 10]	可	経路別感染対策を実施できれば直接授乳も可能
B 型肝炎ウイルス (HBV)	可	乳首や周辺の乳輪が裂けて出血している場合は、一時的に授乳を控える
C 型肝炎ウイルス (HCV)	可	乳首や周辺の乳輪が裂けて出血している場合は、一時的に授乳を控える
トキソプラズマ	可	特記事項なし
単純ヘルペスウイルス (HSV)	可	活動性単純ヘルペス感染症に罹患していて、乳房に皮膚病変が存在している場合は控える (乳房の病変部位を完全に覆えば、病変のない乳房から授乳することは可能)